

平成24年1月27日



研究だより

第30号

自治医科大学附属さいたま医療センター

Stay Hungry, Stay Foolish —これからの若い医師達へ—



呼吸器科 教授 小山信一郎

最近の若い人たち（医師に限らず）は、留学したがるそうだが、私が留学した頃は、チャンスがあれば、我こそはと皆思っていた。日本が幸せすぎて、内向きの若い人達を作ってしまったのか？それとも、これも研修医システムの影響であろうか？内閣府の調査（2010年）では、20代の70%以上が今の生活に「満足」しているそうである。そうすると、今の生活が良いのであって苦勞して留学する気持ちにならないのであろうか。いずれにせよ留学することに魅力がないようである。かつて大学等教育病院にいる医師は、臨床、研究、教育の3本柱があると言われていたが、いつのまにか研究が抜けてきたようで、学問に対して興味がなくなってしまったようである。しかし、当センターは、分院とは言え基礎研究が行える施設も併設しており、臨床的な研究だけでなく基礎研究にも参加できる体制がある。医師育成におけるこのような研究施設の重要性を理解した結果であると考えます。

最近では、博士号より専門医を選ぶ医師が多く、基礎系に入る医師も激減している。さらに、後期研修が専門領域のみに片寄ることが多いためか、日本内科学会総合内科専門医を取得する医師も減っている。そのため、総合内科専門医試験時に提出する症例が、初期研修医からの症例でも良くなった。多くの施設の後期研修プログラムでは、内科全般の症例が集まらないからである。しかし当センターでは、内科系後期研修医は、研修終了時に総合内科専門医を取得できるようなプログラムを組んでいる。平成23年9月に総合内科専門医を持っている医師に対し、センターは表彰し、資格取得に対して評価した。これは、センターの目標とする総合医を重視している証であり、さらに総合医育

成がセンターの社会的使命であると表明したことでありと確信する。

インターネットがこんなに普及し便利になる前は、今みたいに簡単に文献が手に入らず、一週間に何回か図書館に籠もった。私は、あの古い本をめくった時の臭いが好きであった。留学先の米国シアトルのワシントン大学には、1800年代の本があった。本をくくってあるひもを解き、本を開けた時の臭いは、1800年代の臭いがして感動であった。「孫引き」という言葉は、すでに死語であろうが、一つの論文を読むとその論文にある文献をすべて図書館で調べ、さらにそれらの論文を読み、さらに文献を調べる。そのようなことをしていくと、過去の論文に遡っていき、一つの論文からすぐ数百の論文が集まるし、どうしてそのような論文ができたのか、本当の意味での原著にたどり着く。そのときは、喜びであった。いま、PubMedを利用すると、すぐ搜している文献が見つかるようになったが、図書館は、人類の文化の象徴である。映画「猿の惑星」では、人類に代わって猿の時代になっても人類が作った図書館は残っていた。土日は、ワシントン大学の図書館で過ごした。有料のゼロックス社製の汚いコピー機（当時アメリカでは、コピーをすることをゼロックスすると言っていた）で文献をコピーした。そのゼロックスでコピーした紙にも臭いがした。目的とする論文が見つかった時は、妙に帰宅が楽しく、帰りの車の中で気分が高揚したのを覚えている。最近の若い人は、そのような作業をしないから、よけいに学問が無機的になったのかもしれない。コンピューターでは、臭いがしないし、感動も薄い。PDFにすることにより、読んだ気になるのかもしれない。

なぜ、若い医師は、研究に近づかなくなったのか。良き臨床家は、良き研究者である。昔みたいに論文の入手が困難であった時代の臨床家は、自分の経験した症例のような文献を捜すのに苦労した。そのため1例でも経験すれば、「俺の経験では…」と話していた先輩が懐かしい。今では、インターネットで誰でもすぐにいろいろな症例を共有できる。良い時代になった。しかし、数個のキーワードを入力して、同じような症例を探すことは容易でも、病歴から鑑別診断をし、さらにそこから仮説を立てて診断・治療を行う事は、難しい。経験を積んだ臨床医は、鑑別診断の優先順位付けを自然と行っており、その結果第1仮説（作業仮説）、代替仮説などを選択することができるのである（「考える技術、臨床的思考を分析する。第2版」参照）。仮説とは、患者さんの丁寧な病歴聴取、診察から最も可能性が高い（重症度、頻度（確率）などから）疾患を挙げることであり、その仮説が正しいかどうか、検査を行い、診断を行う。正しくなければ、代替仮説を立てる。このプロセスを丁寧に行う事で、より早く確実に診断されるのである。研究においても、最初は仮説を立てるところから始める。いろいろな文

献を調べることによって、疑問な点が見つかる。それらを整理し、さらに文献を調査することにより、さらに疑問な点が残る。この疑問な点が仮説になる。この仮説を解決するために、研究を行う。研究方法に間違いがなく、データが得られ、仮説に対する説明が理屈にかなうものであれば、その仮説を証明したことになる。そのような作業は、基礎であろうが、臨床であろうが同じであり、実際に行うことが大切である。そのように考えると、基礎的な細部にわたる繊細な追求により仮説を立て、解決する能力を得た医師は、臨床的にも同じプロセスが歩める。臨床家にとって、一時学問を追究する時期があることは、決して無駄でないと考える。センターは、そのような意志のある医師を支援できる。若い医師は、今の幸せで決して満足せず、果敢に異なる環境に自ら飛び込むべきである。

先頃亡くなったスティーブ・ジョブスは、2005年スタンフォード大学の卒業式で「Stay Hungry, Stay Foolish」と3度も言ったそうである。いろいろな解釈があるが、「何に対しても貪欲になれ、何に対しても人のやらないようなチャレンジをしろ」と言っていると思う。

研究の成果

総合医学 1

総合診療科

原著

- 1) Narita T, Gopto T, Suganuma Y, Hosoba M, Morii T, Sato T, Fujita H, Miura T, Shimotomai T, Yamada Y, Kakei M. Efficacy and safety of patient-directed titration of once-daily pre-dinner premixed biphasic insulin aspart 70/30 injection in Japanese type 2 diabetic patients with oral antidiabetic drug failure : STEP-AKITA study. *J Diabetes Invest.* 2 : 63-70. 2011
- 2) Dezaki, K., Damdindorj, B., Sone, H., Dyachok, O., Tengholm, A., Gylfe, E., Kurashina, T., Yoshida, M., Kakei, M., and Yada, T. : Ghrelin Attenuates cAMP-PKA Signaling to Evoke Insulinostatic Cascade in Islet β -Cells. *Diabetes* 60, 2315-24, 2011.

- 3) Nakajima, K., Muneyuki, T., Munakata, H., and Kakei, M. : Revisiting the cardiometabolic relevance of serum amylase. *BMC Res Notes* 4 : 419, 2011.

著書・総説

- 1) 加計正文 糖尿病傾向薬総まとめ、①スルホニル尿素薬 糖尿病ケア12 18 (12) 14-19, 2011
- 2) 加計正文、吉田昌史、大和志保 膵島機能研究のアップデート：膵 β 細胞のstimulus-secretion coupling：電気生理学実験から。 *Islet Equality.* 3 : 26-30. 2011

国際学会

- 1) Yoshida M, Nakata M, Yamato S, Dezaki K, Ishikawa S-E, Yada T, Kakei M, Kawakami M. Ca^{2+} -dependent regulation of Kv2.1 channels in pancreatic beta cells 47th European Association for the Study of Diabetes (EASD) 2011, Sept 12-

16. Lisbon
- 2) Damdindorj Boldbaatar, 出崎克也, 倉科智行, Roita Rauza, 曾根英行, 加計正文, 矢田俊彦 Ghrelin inhibits insulin release by attenuating cAMP pathway in islet b-cell. 第32回日本肥満学会 淡路市 2011年9月23日
- 3) 出崎克也, Damdindorj Boldbaatar, 倉科智行, Rita Rauza, 吉田昌史, 加計正文, 矢田俊彦 膵β細胞イオンチャネルに対するグレリンの効果。
- 4) 吉田昌史, 中田正範, 大和志保, 矢田俊彦, 石川三衛, 川上正舒, 加計正文 膵β細胞 Kv2.1チャネルの代謝依存性調節機構 第32回日本肥満学会 淡路市 2011年9月23日
- 5) 大和志保, 吉田昌史, 加計正文, 出崎克也, 矢田俊彦, 川上正舒 Dexmedetomidine, Medetomidine による膵β細胞 insulin 分泌抑制機構。第32回日本肥満学会 淡路市 2011年9月23日

消化器科

学会、講演会、研究会への出席、発表の日程、概要 (2011年9月～11月)

- 1) 福西昌徳, 宮谷博幸, 吉田行雄: 内視鏡的に除石し得た輪状膵合併総胆管結石の1例. 胆道, 2011; 25: 503. 第47回日本胆道学会学術集会, 2011.9.16～17, 宮崎市
- 2) 福西昌徳, 宮谷博幸, 大竹はるか, 吉川修平, 新藤雄司, 池谷敬, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 浅野岳晴, 松本吏弘, 高松徹, 岩城孝明, 鷺原規喜, 浅部伸一, 吉田行雄: 超音波内視鏡下穿刺ドレナージが症状緩和に有効であった嚢胞形成胃異所性膵の1例. Gastroenterol Endosc. 2011; 53: 2647. 第82回日本消化器内視鏡学会総会, 2011.10.20～23, 福岡市
- 3) 高松徹, 新藤雄司, 池谷敬, 東海浩一, 池田正俊, 牛丸信也, 浅野岳晴, 松本吏弘, 岩城孝明, 福西昌徳, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄: 十二指腸静脈瘤に対しX線透視下でのlipiodolとn-butyl-2cyanoacrylateの混合液による内視鏡的硬化療法が有用であった1例. Gastroenterol Endosc. 2011; 53: 2677. 第82回日本消化器内視鏡学会総会, 2011.10.20～23, 福岡市
- 4) 松本吏弘, 大竹はるか, 吉川修平, 上原健志, 新藤雄司, 池谷敬, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 浅野岳晴, 高松徹, 福西昌徳, 岩城孝明, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄, 野首光弘: 十二指腸カルチノイドに対するESDの適応についての検討. Gastroenterol Endosc. 2011; 53: 2711. 第82回日本消化器内視鏡学会総会, 2011.10.20～23, 福岡市
- 5) 池谷敬, 松本吏弘, 吉川修平, 大竹はるか, 新藤雄司, 上原健志, 山中健一, 牛丸信也, 東海浩一, 池田正俊, 浅野岳晴, 高松徹, 福西昌徳, 岩城孝明, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄: 非特異性多発小腸潰瘍症の小腸狭窄に対してバルーン拡張術が有効であった1例. Gastroenterol Endosc. 2011; 53: 2819. 第82回日本消化器内視鏡学会総会, 2011.10.20～23, 福岡市
- 6) 浅野岳晴, 浅部伸一, 池谷敬, 東海浩一, 牛丸信也, 松本吏弘, 福西昌徳, 高松徹, 岩城孝明, 鷺原規喜, 宮谷博幸, 松浦克彦, 吉田行雄: TEA先行RFAの有用性評価. 日本消化器病学会誌, 2011; 108: A941. 第53回日本消化器病学会大会, 2011.10.20～22, 福岡市
- 7) 松本吏弘, 大竹はるか, 吉川修平, 上原健志, 新藤雄司, 池谷敬, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 浅野岳晴, 高松徹, 岩城孝明, 福西昌徳, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄: 当科における高齢発症潰瘍性大腸炎の臨床的検討. 日本消化器病学会誌, 2011; 108: A857. 第53回日本消化器病学会大会, 2011.10.20～22, 福岡市
- 8) 松沢迪子, 松本吏弘, 大竹はるか, 吉川修平, 上原健志, 新藤雄司, 池谷敬, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 浅野岳晴, 岩城孝明, 福西昌徳, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄, 野首光弘: 胆管癌を原発とする転移性食道癌の一例. 日本消化器病学会誌, 2011; 108: A784. 第53回日本消化器病学会大会, 2011.10.20～22, 福岡市
- 9) 高松徹, 大竹はるか, 吉川修平, 上原健志, 池谷敬, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 浅野岳晴, 松本吏弘, 岩城孝明, 福西昌徳, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄: 早期消化管癌に対する内視鏡治療の現状と今後の展望～当院における胃ESDの現状～. 日本消化器内視鏡学会埼玉部会 第37回学術講演会, 2011.11.5, さいたま市
- 10) 福西昌徳, 宮谷博幸, 岩城孝明, 大竹はるか, 吉川修平, 新藤雄司, 上原健志, 池谷敬, 山中健一, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 浅野岳晴, 松本吏弘, 高松徹, 鷺原規喜, 浅部伸一, 吉田行雄: 膵疾患の内視鏡治療 pancreatic pseudocyst, peripancreatic fluid collection に対する内視鏡的ドレナージ. 日本消化器内視鏡学会埼玉部会 第37回学術講演会, 2011.11.5, さいたま市
- 11) 岩城孝明, 宮谷博幸, 大竹はるか, 吉川修平, 新藤雄司, 上原健志, 池谷敬, 山中健一, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 浅野岳晴, 松本吏

弘, 高松徹, 福西昌徳, 鷺原規喜, 浅部伸一, 吉田行雄: 十二指腸カルチノイドの1例. 日本消化器内視鏡学会埼玉部会 第37回学術講演会. 2011.11.5, さいたま市

- 12) 宮谷博幸: 超音波内視鏡を手にとって見る (ハンズオンセミナー). 日本消化器内視鏡学会埼玉部会 第37回学術講演会. 2011.11.5, さいたま市

原著その他論文 (2010年9月~11月)

- 1) 高松徹, 東海浩一, 牛丸信也, 松本吏弘, 岩城孝明, 福西昌徳, 鷺原規喜, 宮谷博幸, 吉田行雄, 山田茂樹: 食道粘膜下腫瘍に対して粘膜切開後の直視下生検が診断に有用であった1例. *Gastroenterol Endosc.* 2011; 53: 3023-3027.
- 2) Inoue H, Miyatani H, Nakashima Y, Sagihara N and Yoshida Y: Successful endoscopic mucosal resection of a hyperplastic polyp in a hemophilia A patient. *Digestive Endoscopy.* 2011; 23, 325.
- 3) Ugajin T, Miyatani H, Matsumoto S, Takamatsu T, Fukunishi M, Yoshida Y and Dobashi Y: Regression of multiple duodenal hyperplastic polyps following *Helicobacter pylori* eradication. *Digestive Endoscopy.* 2011; 23, 328.

■ 内分泌代謝科

平成23年10-12月の学会活動について報告します。川上正舒センター長が第26回日本糖尿病合併症学会を10月14-15日にさいたま市大宮ソニックシティで開催されました。多数の演題、参加者を得て、盛会のうちに無事終了しました。

- 1) 吉田昌史, 中田正範, 大和志保, 矢田俊彦, 石川三衛, 川上正舒, 加計正文: 膵β細胞 Kv2.1チャネルの代謝依存性調節機構 第32回日本肥満学会 2011年9月23-24日 兵庫県淡路島
- 2) 横尾友隆, 渡辺和寿, 飯田薫子, 鈴木浩明, 島野仁, 石川三衛, 川上正舒, 山田信博, 岡崎康司, 豊島秀男: 新規消化管ホルモン因子 IBCAP による膵β細胞増加作用の解析 第26回日本糖尿病合併症学会総会 2011年10月14-15日 さいたま市
- 3) 吉田昌史, 阿古潤哉, 石川三衛, 加計正文, 川上正舒: 糖尿病患者においてはアテローム血栓性脳梗塞発症前に血糖コントロールの悪化が先行する 第26回日本糖尿病合併症学会総会 2011年10月14-15日 さいたま市
- 4) 佐々木正美, 山田穂高, 浅野智子, 青木厚, 生駒亜希, 豊島秀男, 加計正文, 石川三衛, 川上正

舒: 糖尿病性ケトアシドーシスに合併した急性代謝障害による横紋筋融解症症例の検討 第26回日本糖尿病合併症学会総会 2011年10月14-15日 さいたま市

- 5) 村田美保, 青木厚, 浅野智子, 吉田昌史, 斉藤智之, 生駒亜希, 佐々木正美, 豊島秀男, 川上正舒, 石川三衛: 糖尿病患者の血清 RBP4 とアディポネクチン: 腎症との関係 第26回日本糖尿病合併症学会総会 2011年10月14-15日 さいたま市
- 6) 青木厚, 吉田昌史, 浅野智子, 生駒亜希, 佐々木正美, 豊島秀男, 加計正文, 石川三衛, 川上正舒: 2型糖尿病患者における運動負荷による血清 RBP4 の反応性の検討 第26回日本糖尿病合併症学会総会 2011年10月14-15日 さいたま市
- 7) 金内則子, 茂木さつき, 吉田泉, 加計正文, 石川三衛, 田部井薫, 川上正舒: 腎機能低下速度に対する抑制因子の検討 第26回日本糖尿病合併症学会総会 2011年10月14-15日 さいたま市
- 8) Ishikawa S: Vasopressin receptor antagonists in impaired water excretion. 2011 Annual Meeting of Korean Neuroendocrine Society, November 3, 2011, Gyeongju, Korea.
- 9) Murata M, Aoki A, Asano T, Ikoma A, Kawakami M, Ishikawa S: Close association of serum fibroblast growth factor 23 with diabetic nephropathy in type 2 diabetic subjects. 2011 Annual Meeting of American Society of Nephrology, November 10-13, 2011, Philadelphia, PA.
- 10) Aoki A, Murata M, Asano T, Ikoma A, Kawakami M, Ishikawa S: Exercise-induced increases in serum retinol-binding protein 4 and endothelial progenitor cells in diabetic subjects. 2011 Annual Meeting of American Society of Nephrology, November 10-13, 2011, Philadelphia, PA.

■ 腎臓科

2011年1月から10月

【原著論文】

- 1) 内田隆行, 安藤勝信, 小藤誠也, 早坂秀幸, 中島逸郎, 駒田敬則, 平井啓之, 森穂波, 吉田泉, 田部井薫: 短期型バスキュラーアクセスにおける合併症の比較検討, 透析会誌44 (3): 229-235, 2011
- 2) Yoshida I, Ookawara S, Ando K, Uchida T, Horiguchi A, Nakajima I, Homada T, Mori H, Tabei K: Evaluation of new method for measuring vasculature access recirculation. *Ther*

Apheresis Dial (In press)

- 3) 大河原晋、鈴木昌幸、深瀬幸子、田部井薫：血液透析症例における循環血液量及び血管透過性の把握方法 - Pulse dye-densitometry による実測と推定式の際に関して -、透析会誌 44 (5) : 435-440, 2011

【学会活動】

- 1) 金内則子、茂木さつき、田部井薫：2年間の腎機能低下速度と平均蛋白摂取量および食塩摂取量の検討、第14回日本病態栄養学会年次学術集会、平成23年1月15日～16日、横浜、(日本病態栄養学会誌 13 (5) : 164, 2011)
- 2) 安藤勝信：地域連携にて在宅血液透析 (HHD) を導入した1例、第14回在宅血液透析研究会、平成23年2月26～27日、川口
- 3) 鶴岡昭久、平井啓之、駒田敬則、名畑あおい、森穂波、金内則子、手塚洋子、茂木さつき、吉田泉、加計正文、石川三衛、川上正舒、田部井薫：2型糖尿病性腎症の腎機能低下速度に関する検討、第54回日本腎臓学会総会、平成23年6月15日～17日、横浜、(日腎会誌53 (4) : 405, 2011)
- 4) 平井啓之、伊藤聖学、植田裕一郎、鶴岡昭久、駒田敬則、名畑あおい、森穂波、吉田泉、田部井薫：コレステロール塞栓症18例の検討、第54回日本腎臓学会総会、平成23年6月15日～17日、横浜、(日腎会誌53 (4) : 412, 2011)
- 5) 駒田敬則、伊藤聖学、植田裕一郎、平井啓之、鶴岡昭久、名畑あおい、森穂波、吉田泉、田部井薫、CKDにおける尿中Na濃度の検討、第54回日本腎臓学会総会、平成23年6月15日～17日、横浜、(日腎会誌53 (4) : 445, 2011)

【総説】

- 1) 田部井薫：透析と味覚異常、臨床透析27 (6) : 649-655, 2011
- 2) 田部井薫：急性うっ血性心不全患者に対する利尿薬の使用戦略、Fluid Management Renaissance 1 (1) : 78, 2011

講演会

- 1) 田部井薫：CKD (慢性腎臓病) について、第3回保健指導実務者研修会、平成23年1月19日、熊谷
- 2) 田部井薫：腎臓病について学ぼう、生活改善推進員・羽生市健康運動普及推進員養成講座、平成23年1月21日、羽生
- 3) 田部井薫：腎疾患を合併した患者の降圧療法、草加八潮医師会講演会、平成23年2月16日、草加

- 4) 田部井薫：慢性腎不全保存機治療、CKD 講演会、-さいたまの腎臓を守る！-、平成23年3月2日、さいたま
- 5) 田部井薫：透析患者の予後改善を目指して、第22回山梨血液浄化看護勉強会、平成23年4月24日、甲府
- 6) 田部井薫：糖尿病性腎症におけるCKD治療、第18回愛媛糖尿病合併症研究会、平成23年4月16日、松山
- 7) 田部井薫：心血管系合併症、第73回大宮地区透析療法勉強会、平成23年6月2日、さいたま市
- 8) 田部井薫：検尿異常の診断と治療について、蕨・戸田市医師会学術講演会、平成23年6月8日、戸田
- 9) 田部井薫：実践 輸液講座、第51回管理栄養士研修会、平成23年7月1日、栃木
- 10) 田部井薫：ICU, CCUにおける血液浄化療法 (CHF, CHDF, 血液吸着)、平成23年度、透析従事職員研修、平成23年7月17日、さいたま
- 11) 田部井薫：なぜ、今、尿酸なのか、川口医師会講演会、平成23年7月20日、川口
- 12) 田部井薫：CKD患者における脂質コントロールの意義、Lipids and Vascular Event Lowering Forum、平成23年9月3日、東京
- 13) 田部井薫：CKD治療における脂質管理の意義、平成23年度第8回大宮医師会医学講座、平成23年9月7日、さいたま市

研究会

- 1) 植田裕一郎、鶴岡昭久、平井啓之、伊藤聖学、森穂波、吉田泉、田部井薫、山田茂樹：透析導入となったネフローゼ症候群の1例、第50回埼玉腎臓研究会、平成23年5月14日、川越

臨床研究

- 1) IgA腎症に対するミゾリビンの安全性と有効性の検討 (当科主宰の多施設共同研究)
- 2) 「活動期潰瘍性大腸炎に対する白血球除去 (LCAP) 療法の血液処理量に関する有効性及び安全性検討 - 無作為割付による非盲験群間比較試験 -」 (当科主宰の他診療科共同研究)
- 3) アンジオテンシン II 受容体拮抗薬 (AR) 高容量投与中の腎疾患合併高血圧患者に対するロサルタンカリウム高容量の尿蛋白抑制効果の検討 (当科独自)
- 4) 透析監視装置一体型循環血液量測定装置 (BV計) の開発 (当科主宰の多施設共同研究)
- 5) コレステリン塞栓症に対するLDL、ステロイド

の効果 (当科独自)

多施設共同研究参加

- 1) MPO-ANCA 関連血管炎の寛解維持療法におけるミゾリピンの有効性・安全性および血中濃度の関連性に関する多施設共同研究 (全国)
- 2) 「抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連血管炎・急速進行性糸球体腎炎の寛解導入治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究」(多施設共同研究)
- 3) 「慢性腎臓病 (CKD) に合併する高尿酸血症に対する尿酸排泄促進治療の臨床的有用性に関する検討」Uric acid Reduction Ameliorates Transition to End-stage renal disease Study (URATE-Study) (多施設共同研究)
- 4) ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群を呈する巣状糸球体硬化症に対する LDL アフェレシス治療の有効性に関する多施設共同研究 (多施設共同研究)
- 5) ミカルデイスの予後の与える影響の全国調査 (JTARGET) (多施設共同研究)
- 6) オルメサルタン投与中のアルブミン尿を伴う慢性腎臓病合併高血圧患者におけるアゼルニジピンとアムロジピンの抗アルブミン尿効果の比較『Japanese evaluation between FormuLa of Azelnidipine and amlodipine add on olmesartan to Get antialbuminuric effect study (J-FLAG)』(多施設共同研究)
- 7) アルブミン尿を有する高血圧患者におけるレニン・アンジオテンシン系抑制薬投与を中心とした通常療法に対するエプレレノン併用の優位性を検証する臨床試験 EVALUATE (Eplerenone Combination Versus Conventional Agents to Lower Blood Pressure on Urinary Antialbuminuric Treatment Effect Trial) (多施設共同研究)
- 8) 保存期腎不全における腎性貧血治療と残腎機能に関する検討 (SET 研究) (埼玉県透析医学会主催の埼玉県内多施設共同研究)

総合医学2

■ 外科

☆原著論文

- 1) 野首光弘、前田孝文、桑原悠一、谷口 肇、小西文雄、岩城孝明、吉田行雄、山田茂樹：右半結腸切除で治療された進行癌合併鋸歯状ポリポーシスの1例. 診断病理 28 (3) 211-215 2011
- 2) Okada S, Suzuki K, Kato T, Noda H, Kamiyama H, Maeda Y, Saito M, Koizumi K, Miyaki Y, Konishi F : Aberrant methylation of the Pleckstrin and Sec7 domaincontaining gene is implicated in ulcerative colitis-associated carcinogenesis through its inhibitory effect on apoptosis. INTERNATIONAL JOURNAL OF ONCOLOGY September 2011
- 3) Yamamoto H, Sekimoto M, Oya M, Yamamoto N, Konishi F, Sasaki J, Yamada S, Taniyama K, Tomonaga H, Tsujimoto M, Akamatsu H, Yanagisawa A, Sakakura C, Kato Y, Matsuura N : OSNA-Based novel molecular testing for lymph node metastases in colorectal cancer patients : Results from a multicenter clinical performance study in Japan. Annals of surgical oncology 1891-1891 2011
- 4) Kato T, Suzuki K, Okada S, Kamiyama H, Maeda T, Saito M, Koizumi K, Miyaki Y, Konishi F : Aberrant methylation of PSD disturbs Rac1-mediated immune systems, governing machinery of apoptosis and neutrophils chemotaxis, in ulcerative colitis-associated carcinogenesis. Internatuinal journal of oncology (December 2011)

☆学会発表

- 1) 早田邦康、加納良彦、辻仲真康：ポリアミンと癌の進展. 第70回日本癌学会が記述研究会 2011.10.3-5, 名古屋
- 2) 野田弘志：腸重積. 第822回外科集談会 2011.9.17, 高崎
- 3) 齊藤真弓、蓬原一茂、宮下富子、阿部智美、菅原茜、上田千沙、佐藤未奈：入院時病棟看護師による乳癌術後リンパ浮腫予防指導の検討. 第8回日本乳癌学会 関東地方会 2011.12.3, さいたま
- 4) 岡田晋一郎、清崎浩一、周東千緒、千葉文博、齊藤正昭、高田理、吉田卓義、小西文雄：食道癌の気管・気管支狭窄に対し気管ステント治療を施行

- した7症例. 第65回日本食道学会 2011.9.26, 仙台
- 5) 高田 理、清崎浩一、千葉文博、齊藤正昭、周東千緒、吉田卓義、小西文雄：Barrett 食道癌加療後に興味深い扁平上皮化生を認めた1例. 第65回日本食道学会 2011.9.26, 仙台
 - 6) 千葉文博、清崎浩一、周東千緒、齊藤正昭、高田理、吉田卓義、小西文雄：食道胃接合部癌の臨床病理学的立場から－開胸手術の適応とは. 第65回日本食道学会 2011.9.26, 仙台
 - 7) 齊藤正昭、清崎浩一、千葉文博、高田 理、吉田卓義、小西文雄：胸部進行食道癌に対する根治的CRT後の早期、晩期毒性の検討. 第65回日本食道学会 2011.9.26, 仙台
 - 8) 原 一彰、渡部文昭、野田弘志、遠山信幸、蛭田昌弘、土橋 洋、小西文雄：急性膵炎を契機に発見された十二指腸腺種による十二指腸重積の1例. 第822回外科集談会 2011.9.17, 高崎
 - 9) 河村 裕、山内 仁、小西文雄：内視鏡下摘除後も大腸SM癌に対する外科的治療. 第82回日本消化器内視鏡学会総会 2011.10.20-23, 福岡
 - 10) 辻仲眞康、河村 裕、佐々木純一、小西文雄：局所再発・切除不能直腸癌に対する放射線および化学放射線治療の適用と治療成績に関する検討. 第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19, 東京
 - 11) 柿澤奈緒、野田弘志、渡部文昭、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：当院における膵頭十二指腸切除時の膵空腸吻合法. 第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19, 東京
 - 12) 野田弘志、渡部文昭、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：門脈管切除再建を伴う膵頭十二指腸切除術. 第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19, 東京
 - 13) 加藤高晴、野田弘志、神山英範、河村 裕、住永佳久、宮崎国久、遠山信幸、小西文雄：新規抗癌剤導入前後における大腸癌転移の切除成績の比較. 第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19, 東京
 - 14) 渡部文昭、野田弘志、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：膵頭十二指腸切除術における術前減黄の功罪－術前減黄処置とsurgical site infection (SSI)の関連性の検討. 第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19, 東京
 - 15) 高田 理、清崎浩一、岡田晋一郎、千葉文博、齊藤正昭、吉田卓義、小西文雄：当科における残胃癌の治療. 第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19, 東京
 - 16) 市田晃佑、野田弘志、渡部文昭、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：膵瘻兆候を示さず膵頭十二指腸切除動脈瘤からの出血を来した3例の検討. 第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19, 東京
 - 17) 福井太郎、野田弘志、渡部文昭、遠山信幸、小西文雄：パラガングリオーマ3例の術前診断と自然史の検討. 第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19, 東京
 - 18) 市田晃佑、野田弘志、渡部文昭、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN)患者に合併した他臓器癌の検討. 第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19, 東京
 - 19) 武藤雄太、野田弘志、福井太郎、渡部文昭、遠山信幸、土橋 洋、小西文雄：術前診断に難渋した肝左葉の高度萎縮を来した肝内胆管癌の1例. 第73回日本臨床外科学会総会 2011.11.17-19, 東京
 - 20) Konishi F : Technical difficulties and qualification of laparoscopic colorectal skill : Japanese experience. European society of coloproctology ESCP 2011.9.21-24, コペンハーゲン
 - 21) 千葉文博、早田邦康、小西文雄、川上正舒：癌悪液質の病態変化. 第24回バイオセラピー学会学術集会総会 2011.12.1-2, 和歌山
 - 22) 早田邦康、加納良彦、辻仲眞康、小西文雄、川上正舒：ポリアミンによる癌免疫抑制と癌浸潤能亢進. 第24回バイオセラピー学会学術集会総会 2011.12.1-2, 和歌山
 - 23) Konishi F : Laparoscopic colorectal Surgery-Credentialing of the technique in Japan. Colorectal Forum 2011 2011.11.5-6, Taiwan
 - 24) Konishi F, Maeda T, Suzuki K, Togashi K : Sessile serrated adenoma of the colon as a precursor of colon Cancer. Colorectal Forum 2011 2011.11.5-6, Taiwan
 - 25) 遠山信幸、亀森康子、水上由美子：医師のインシデントアクシデントレポート数1,000件/年を目指して. 第6回医療の質・安全学会学術集会 2011.11.19-20, 東京
 - 26) 亀森康子、遠山信幸、水上由美子：手術室における検体確認マニュアルの見直し. 第6回医療の質・安全学会学術集会 2011.11.19-20, 東京
 - 27) 水上由美子、遠山信幸、亀森康子：ATPを用いた閉鎖式輸液回路の汚染調査と消毒による汚染除去の限界. 第6回医療の質・安全学会学術集会 2011.11.19-20, 東京
 - 28) 齊藤正昭、鈴木浩一、加藤高晴、前田孝文、清崎浩一、小西文雄：胃癌発癌過程におけるセントロメア領域の脱メチル化異常と染色体不安定性. 第22回日本消化器癌発生学会総会 2011.11.25-26, 佐賀

- 29) 柚 夏美、関根 理、蓬原一茂、鈴木康治郎、小西文雄、野首光弘、土橋 洋、山田茂樹、尾本きよか：14年間、左胸壁局所再発を繰り返す両側乳癌の一切除例。第8回日本乳癌学会 関東地方会 2011.12.3, さいたま
- 30) 阿部 郁、蓬原一茂、関根 理、小西文雄、野首光弘、山田茂樹：乳頭乳輪部黒色結節の2症例。第8回日本乳癌学会 関東地方会 2011.12.3, さいたま
- 31) 永本将一、佐々木純一、小林恵子、河村 裕、小西文雄、福西昌徳、池田正俊、宮谷博幸、吉田行雄、野首光弘：小腸粘膜下病変からの出血でショックを来し緊急手術を行った1例。第317回日本消化器病学会 2011.12.3, 東京
- 32) 辻仲眞康、河村 裕、佐々木純一、小西文雄：腹腔鏡補助下大腸全摘術の手術手技と、手術適応別・術者別および開腹下手術と比較した術後成績に関する検討。第24回日本内視外科学会総会 2011.12.7-9, 大阪
- 33) 野田弘志、加藤高晴、渡部文昭、小西文雄：腹腔鏡下左側副腎摘除術のアプローチで摘除した後腹膜腫瘍の2例。第24回日本内視外科学会総会 2011.12.7-9, 大阪
- 34) Konishi F : The Japanese approach to the treatment of colorectal cancer. Frontiers in intestinal and colorectal disease Ninth annual international congress 2011.11.29-12.2, ロンドン
- 35) Konishi F : Early stage colorectal cancer and its management including the features flat cancer. Frontiers in intestinal and colorectal disease Ninth annual international congress 2011.11.29-12.2, ロンドン
- 36) Konishi F : Laparoscopic colorectal Surgery-Credentialing of the technique in Japan. The 13th Congress of Asia pacific federation of coloproctology The 4th Congress of Asia pacific Enterostomal theraphu nurses association

☆その他

- 1) 小西文雄：大腸疾患の外科治療 最近の動向。平成23年度第13回大宮医師会医学講座, 2011.11.19, さいたま

☆著書 総説

- 1) Z Wamg, K Y Yan, Konishi F : Therapeutic options for early colorectal cancer. 2011 MD MIS (Minimally Invasive Surgery) pp15, 2011

■呼吸器外科

(論文)

- 1) Kanai Y, Endo S, et al. Massive hemothorax after pulmonary endostapling preloaded with bioabsorbable tissue reinforcement material. Int Cardio - Vasc Thorac Surg (in press)
- 2) Nakano T, Endo S, Endo T, Hasegawa T, Nakayama M, Sugiyama Y, Hironaka M. Multimodal treatment for multistation mediastinal lymph node adenocarcinoma : Ann Thorac Cardiovasc Surg. (in press)
- 3) 手塚憲志 遠藤俊輔：手術療法の進歩 - 肺癌の悪性度や全身状態に応じたオーダーメイド外科治療 - 生活習慣病 2012 1月号

(学会発表)

- 1) 福井太郎ほか：肺トキソプラズマ症に伴う両側膿胸を来した1例 第139回日本呼吸器内視鏡学会 関東支部会 12月3日 (東京)
- 2) 吉崎隆道ほか：縦隔型右上葉肺癌に対して気管合併右上陽切除術を施行した1例 第162回日本肺癌学会 関東支部会 12月3日 (東京)
- 3) 中野智之ほか：肺癌術後縦隔リンパ節再発との鑑別を要した胸腺癌の1例 第162回日本肺癌学会 関東支部会 12月3日 (東京)
- 4) 遠藤俊輔ほか：Massive N2 大細胞癌に対する胸腔鏡下左肺上葉切除・拡大縦隔郭清術 第11回呼吸器胸腔鏡手術手技研究会 12月6日 (大阪)
- 5) 手塚憲志ほか：胸腔鏡手術における視野方向可変式スコープの有用性 第24回日本内視鏡外科学会総会 12月8日 (大阪)

■心臓血管外科

☆原著論文

- 1) 由利康一, 安達秀雄：真性胸部大動脈瘤. 胸部外科64 (8) : 646-651 2011
- 2) Tamura A, Yamaguchi A, Yuri K, Noguchi K, Naito K, Nagano H, Takahashi M, Adachi H : Clinical experience with a new vascular graft free from biodegradable material. Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery 12 : 758-761 2011
- 3) 白石 学, 山口敦司, 由利康一, 根本一成, 内藤和寛, 野口権一郎, 安達秀雄：冠動脈バイパス術後の心房細動についての検討. 日心外会誌40 (5) : 227-230 2011

- 4) 白石 学, 山口敦司, 野口権一郎, 安達秀雄: 腹部大動脈瘤術後の片側腎筋壊死から急性腎不全を発症した1例. 日心外会誌40 (5): 255-258 2011

☆学会発表

- 1) 橋本和憲, 由利康一, 長野博司, 竹内紘子, 田島泰, 牛木真理子, 佐藤健一郎, 小日向聡行, 高橋雅弥, 森田英幹, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: 60mm 大の浅大腿動脈瘤に対する1手術症例. 第26回埼玉血管外科懇話会 2011年9月9日 ソニックシティ大宮
- 2) 安達晃一, 山口敦司, 由利康一, 森田英幹, 長野博司, 小日向聡行, 高橋雅弥, 佐藤健一郎, 牛木真理子, 嶋田直洋, 田島 泰, 橋本和憲, 竹内紘子, 小林恵子, 松永理絵, 真木 充, 松下友美, 小野澤裕昌, 安達秀雄: 大動脈弁逆流を伴う上行大動脈置換術後、解離性腹部大動脈瘤に対する二期的手術の1例. 第19回日本大動脈外科研究会 2011年10月10日 名古屋国際会議場
- 3) 由利康一, 安達晃一, 森田英幹, 山口敦司, 安達秀雄: 広範囲弓部下大動脈瘤に対する TEVAR を用いた Staged Operation. 第19回日本大動脈外科研究会 2011年10月10日 名古屋国際会議場
- 4) 安達晃一, 山口敦司, 由利康一, 森田英幹, 長野博司, 小日向聡行, 高橋雅弥, 荒川 衛, 嶋田直洋, 田島 泰, 橋本和憲, 竹内紘子, 安達秀雄: Drug Eluting Stent 時代における不安定狭心症に対する Off Pump CABG. 第64回日本胸部外科学会定期学術集会 2011年10月9日~12日 名古屋国際会議場 Gen Thorac Cardiovasc Surg (2011) Volume 59 Supplement: 243
- 5) 嶋田直洋, 由利康一, 森田英幹, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: 術前に循環補助を必要とした心筋梗塞に対する手術症例の検討. 第64回日本胸部外科学会定期学術集会 2011年10月9日~12日 名古屋国際会議場 Gen Thorac Cardiovasc Surg (2011) Volume 59 Supplement: 301
- 6) 荒川 衛, 山口敦司, 岡村 誉, 由利康一, 安達晃一, 安達秀雄: 薬剤溶出性ステント出現前後の冠動脈バイパス手術症例における SYNTAX score. 第64回日本胸部外科学会定期学術集会 2011年10月9日~12日 名古屋国際会議場 Gen Thorac Cardiovasc Surg (2011) Volume 59 Supplement: 310
- 7) 小日向聡行, 由利康一, 竹内紘子, 橋本和憲, 牛木真理子, 佐藤健一郎, 田村 敦, 高橋雅弥, 長野博司, 森田英幹, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: ステントグラフト内挿術が有効であった炎症性腹部大動脈瘤の2例. 第52回日本脈管学会総会 2011年10月20日~22日 長良川国際会議場
- 8) 佐藤健一郎, 由利康一, 竹内紘子, 橋本和憲, 牛木真理子, 小日向聡行, 田村 敦, 高橋雅弥, 長野博司, 森田英幹, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: 腹腔動脈瘤の3例. 第52回日本脈管学会総会 2011年10月20日~22日 長良川国際会議場
- 9) 由利康一, 安達晃一, 森田英幹, 山口敦司, 安達秀雄: 当院における, 広範囲・多発弓部下大動脈瘤に対する治療戦略. 第52回日本脈管学会総会 2011年10月20日~22日 長良川国際会議場
- 10) 田島 泰, 由利康一, 竹内紘子, 橋本和憲, 牛木真理子, 佐藤健一郎, 小日向聡行, 高橋雅弥, 長野博司, 森田英幹, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: EVAR 後の人工血管置換術に際し, 術式に工夫を要した一例. 第52回日本脈管学会総会 2011年10月20日~22日 長良川国際会議場
- 11) 山口敦司, 安達秀雄, 安達晃一, 由利康一, 森田英幹, 小日向聡行, 長野博司, 高橋雅弥, 田村敦, 佐藤健一郎, 牛木真理子, 竹内紘子, 森園剛樹, 栗山健吾: 糖尿病を合併した患者に対する冠動脈バイパス術. 第32回さいたま循環器談話会 2011年11月2日 パレスホテル大宮
- 12) 竹内紘子, 由利康一, 橋本和憲, 田島 泰, 牛木真理子, 嶋田直洋, 佐藤健一郎, 小日向聡行, 長野博司, 高橋雅弥, 森田英幹, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: 左腎動脈瘤合併腹部大動脈瘤の1例. 第19回日本血管外科学会関東甲信越地方会 2011年11月5日 聖マリアンナ医科大学病院
- 13) 田島 泰, 安達秀雄, 山口敦司, 安達晃一, 由利康一, 森田英幹, 長野博司, 小日向聡行, 高橋雅弥: 高度 Porcelain Aorta を有する大動脈弁狭窄症に対し上行大動脈置換術および大動脈弁置換術、冠動脈バイパス術を行った一例. 第157回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2010.11.12 東京ステーションコンファレンス
- 14) 竹内太郎, 木村知恵里, 白石 学, 山口敦司: pannus 形成による大動脈弁位人工弁不全の1手術例. 第157回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2010.11.12 東京ステーションコンファレンス
- 15) 松永理絵, 森田英幹, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: Osler-Weber-Rendu 病に合併した MRSA 人工弁感染に対して Bentall 手術を行った1例. 第157回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2010.11.12 東京ステーションコンファレンス
- 16) 荒川 衛, 山口敦司, 由利康一, 安達晃一, 安達

秀雄：左室形成術後の NIPRO 型補助人工心臓装着例における心尖部脱血管の挿入方法の検討. 第49回日本人工臓器学会大会 2011年11月25日～27日 都市センターホテル

☆その他

- 1) 安達秀雄：Complex Aortic Surgery, Department of Cardiothoracic Surgery Meeting 26th September 2011 Queen Mary Hospital, University of Hong Kong
- 2) 安達秀雄：増加する大動脈疾患にどう対処するか, 第35回関東・甲信越 MMC 研究会 2011年10月15日 ハイアットリージェンシー東京

☆著書 総説

- 1) 由利康一, 安達秀雄：アスピリンは末梢動脈疾患患者の心血管イベント減少をもたらすか？ 特集 データブック アテローム血栓症の大規模臨床試験 PART3. 血栓と循環 19 (3)：253-255 2011

■ 泌尿器科

学会発表

- 1) 永本将一、齊藤公俊、平井 勝、鷺野 聡、松崎 敦、小林 裕：気腫性腎盂腎炎の1例. 第59回日本泌尿器科学会埼玉地方会, さいたま市 2011年11月19日
- 2) 小林 裕、平井 勝、齊藤公俊、松崎 敦：内分泌療法が施行されている前立腺癌症例における骨密度の検討. 第76回日本泌尿器科学会東部総会, 横浜市 2011年10月20日-22日
- 3) 松崎 敦、平井 勝、齊藤公俊、鷺野 聡、小林 裕、戸塚一彦：複数回前立腺生検施行症例の検討. 第76回日本泌尿器科学会東部総会, 横浜市 2011年10月20日-22日
- 4) 松崎 敦、平井 勝、齊藤公俊、鷺野 聡、小林 裕、戸塚一彦：初診時 PSA 値が100以上であった前立腺癌症例の検討. 第61回日本泌尿器科学会中部総会, 京都 2011年11月16-18日

■ 耳鼻科

<学会発表>

- 1) 新鍋晶浩、長谷川雅世、原 真理子、児玉 梢、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：弛緩部型および緊張部型真珠腫における耳管機能および乳突蜂巣発育の違いについて. 第109回日耳鼻埼玉県地

方部会学術講演会, 2011年10月16日, pp2, さいたま市

- 2) 長谷川雅世、松澤真吾、原 真理子、児玉 梢、新鍋晶浩、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：鼻副鼻腔神経鞘腫の2例. 第109回日耳鼻埼玉県地方部会学術講演会, 2011年10月16日, pp5, さいたま市
- 3) 飯野ゆき子：好酸球性中耳炎の診断と治療. 第21回日本耳科学会総会学術講演会 ランチョンセミナー4, 2011年11月25日, 沖縄. otol Jpn21 (4)：353, 2011.
- 4) 原 真理子、児玉 梢、新鍋晶浩、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：当科における小児慢性穿孔性中耳炎の検討. 第21回日本耳科学会総会学術講演会, 2011年11月24-26日, 沖縄. otol Jpn21 (4)：445, 2011.
- 5) 飯野ゆき子、原 真理子、児玉 梢、新鍋晶浩、金沢弘美、吉田尚弘：小児先天性真珠腫の手術時期について. 第21回日本耳科学会総会学術講演会, 2011年11月24-26日, 沖縄. otol Jpn21 (4)：459, 2011.
- 6) 新鍋晶浩、原 真理子、児玉 梢、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：弛緩部型真珠腫と緊張部型真珠腫における中耳換気障害の相違点に関する考察. 第21回日本耳科学会総会学術講演会, 2011年11月24-26日, 沖縄. otol Jpn21 (4)：726, 2011.
- 7) 児玉 梢、原 真理子、新鍋晶浩、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：耳疾患のある小児症例の側頭骨 CT における副鼻腔陰影の検討 第2報. 第21回日本耳科学会総会学術講演会, 2011年11月24-26日, 沖縄. otol Jpn21 (4)：744, 2011.
- 8) 飯野ゆき子：小児のアレルギー性鼻炎の治療. 第50回日本鼻科学会総会ならびに学術講演会 ランチョンセミナーV, 2011年12月1-3日, 岡山. 日鼻誌50 (3)：305, 2011.
- 9) 長谷川雅世、松澤真吾、児玉 梢、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：鼻副鼻腔神経鞘腫の2例. 第50回日本鼻科学会総会ならびに学術講演会, 2011年12月1-3日, 岡山. 日鼻誌50 (3)：380, 2011.
- 10) 吉田尚弘、松澤真吾、長谷川雅世、金沢弘美、飯野ゆき子：小児の鼻性眼窩骨膜下膿瘍・硬膜外膿瘍症例. 第50回日本鼻科学会総会ならびに学術講演会, 2011年12月1-3日, 岡山. 日鼻誌50 (3)：383, 2011.
- 11) 金沢弘美、長谷川雅世、吉田尚弘、飯野ゆき子：好酸球性中耳炎を合併する好酸球性副鼻腔炎3例への抗 IgE 抗体投与後の効果について. 第50回

日本鼻科学会総会ならびに学術講演会、2011年12月1-3日、岡山。日鼻誌50(3):434, 2011.

<その他>

- 1) 飯野ゆき子：難治性中耳炎の取り扱い方。第9回札幌耳鼻咽喉科疾患研究会，2011年9月10日，札幌
- 2) 飯野ゆき子：「関連する学会」の活動状況。第6回日本小児耳鼻咽喉科学会。日耳鼻114：788-790, 2011.

<著書・総説>

- 1) 飯野ゆき子：基盤病態としての慢性炎症。JOHNS27(11)，1695-98, 2011.

■ 眼科

[学会発表・講演会・研究会]

学会発表

- 1) 梯彰弘，太田有夕美，豊田文彦，木下望，山上博子，小幡博人，松本考史，辻淳一，土橋洋，川上正舒，金澤康徳：「SDT ラットの糖尿病眼合併症に対するアルドース還元酵素阻害薬 ranirestat の効果」第26回日本糖尿病合併症学会，さいたま市 2011年10月14日。（プログラム・抄録集 p-81）
- 2) 太田有夕美，梯彰弘，豊田文彦，木下望，山上博子，小幡博人，松本考史，辻淳一，山上聡，土橋洋，川上正舒，金澤康徳：「SDT ラットの角膜障害に対するアルドース還元酵素阻害薬 Ranirestat の効果」TEAM 2011 第30回日本網膜硝子体学会総会，第26回日本眼循環学会，第17回日本糖尿病眼学会総会合同学会 東京都 2011年12月2日。（プログラム・抄録集 p-135）
- 3) 梯彰弘，竹澤美貴子，秋葉純：インストラクションコース 細隙灯顕微鏡および OCT による硝子体検査法－後部硝子体剥離の診断－。第65回日本臨床眼科学会，東京，2011年10月9日。（プログラム・抄録集 p-109）

■ 産婦人科

学会発表

- 1) 今野 良. 子宮頸がん征圧をめざす専門家会議。第50回日本婦人科腫瘍学会市民公開講座 子宮頸がんに立ち向かう，2011年7月21日，北海道。
- 2) 今野 良. 【ランチョンセミナー】子宮頸がん検診における HPV 検査の使い方。第63回日本産科婦人科学会学術講演会，2011年8月30日，大阪。
- 3) 今野 良. 子どもたちの未来のために～子宮頸が

んワクチン予防と検診について～。第58回日本小児保健協会学術集会，2011年9月3日，名古屋。

- 4) 今野 良. 【シンポジウム】子宮頸部上皮内腫瘍（異形成及び上皮内がん）治療の ART および分娩への影響。第29回日本受精着床学会総会学術講演会，2011年9月10日，東京。
- 5) 今野 良. 【特別講演】HPV ワクチン時代の子宮頸がん検診。第37回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会，2011年9月18日，滋賀。
- 6) 根津幸穂，満下淳地，林 由梨，今野 良. 同時化学放射線併用療法後子宮全摘術を行った進行子宮頸癌に対する検診。第70回日本癌学会学術総会，2011年10月3～5日，名古屋。
- 7) 林 由梨，今野 良，ハンリーシャロン，小西宏. 自治体予算により高い接種率が得られた志木市の HPV ワクチンへの取り組み。第70回日本癌学会学術総会，2011年10月3～5日，名古屋。
- 8) 臼井あかね，小西 宏，林 由梨，ハンリーシャロン，今野 良. 日本の女子大生における子宮頸がんの知識に関するアンケート調査。第70回日本癌学会学術総会，2011年10月3～5日，名古屋。
- 9) 今野 良. 【シンポジウム】子宮頸がん予防のための HPV ワクチン。第81回日本感染症学会西日本地方会学術集会，2011年10月8日，福岡。
- 10) 今野 良. 【教育講演】HPV Update. 第50回日本臨床細胞学会秋期大会，2011年10月22日，東京。
- 11) 今野 良，中村和代. 「子宮頸がん征圧をめざす専門家会議」が行ってきた政策提言と社会啓発。第50回日本臨床細胞学会秋期大会，2011年10月22日，東京。
- 12) 大井朝子，満下淳地，平嶋洋斗，芝田 恵，根津幸穂，林 由梨，伊藤浄樹，坂田麻理子，堀内功，今野 良. 凍結療法（Cryotherapy）による子宮頸部上皮内病変の治療。第80回埼玉産科婦人科学会 埼玉県産婦人科医会平成23年度後期学術集会，2011年11月12日，さいたま。
- 13) 平嶋洋斗，坂田麻理子，芝田 恵，大井朝子，林由梨，伊藤浄樹，根津幸穂，満下淳地，堀内功，今野 良. 胎児羊水過多を契機に診断された筋緊張性ジストロフィー合併妊娠。第80回埼玉産科婦人科学会 埼玉県産婦人科医会平成23年度後期学術集会，2011年11月12日，さいたま。

著書・総説

- 1) 今野 良，林 由梨，根津幸穂，満下淳地. 諸外国における子宮頸がん検診。臨床検査，医学書院，55(12)：1391-1398, 2011.
- 2) 今野 良. 子宮頸がんワクチン ①子宮頸がん予

防のための HPV ワクチン. 産婦人科の実際, 金原出版, 60 (7) : 1045-1054, 2011.

- 3) 今野 良. 子宮頸がんワクチン ② HPV ワクチンの開発から実際まで. 産婦人科の実際, 金原出版, 60 (8) : 1213-1218, 2011.
- 4) 今野 良. 子宮頸がんワクチン ③ HPV ワクチン接種の実際における疑問解決. 産婦人科の実際, 金原出版, 60 (9) : 1355-1360, 2011.

■ 麻酔科

(原著)

- 1) 大和志保, 長田 理, 村山隆紀: 生体大体モデルを用いた2つの局所麻酔薬投与方法に関する比較検討. 麻酔 60 (10) : 1144-1148, 2011
- 2) Kamata K, Hayashi M, Nagata O, Muragaki Y, Iseki H, Okada Y, Ozaki M. : Initial Experience with the Use of Remote Control Monitoring and General Anesthesia during Radiosurgery for Pediatric Patients. *Pediatr Neurosurg.* 2011 ; 47 (2) : 158-66.

(総説)

- 1) 長田 理: 麻酔器に要求される機能と安全性. *LiSA* 18 (5) : 502-504, 2011
- 2) 長田 理: オピオイドに関する最近の話題—全身麻酔と術後鎮痛. *総合臨牀*, 60 (8) : 1775-1776, 2011

(著書)

- 1) 長田 理: 14. 高齢者の外科治療 14.3 手術と麻酔のリスク, 14.4 高齢者手術の術前評価に必要な情報, *健康長寿診療ハンドブック—実地医家のための老年医学のエッセンス*, 日本老年医学会発行, メジカルビュー社, 2011, p102-106
- 2) 長田 理: 第3章各種薬物の特徴と使い方 1. 麻薬血中濃度の理論と実際. *PCA 患者自己調節鎮痛法*, 山蔭道明監修, 山内正憲編集, 克誠堂出版, 東京, 2011, p97-106

(講演)

- 1) 長田 理: (特別講演)「エスラックスに込められた期待—筋弛緩薬改良の歴史と特性を生かした投与方法—」. 麻酔科学術講演会 in Osaka, 2011年8月6日, 大阪市
- 2) 長田 理: (シンポジウム)「鎮痛薬と鎮静薬の相互作用を利用した麻酔管理」. 日本心臓血管麻酔学会第16回学術大会, 2011年10月9日, 旭川市

- 3) 長田 理: (共催セミナー)「母集団への対応と個体差への対応—至適投与調節を実現する2つの概念」. 第18回日本静脈麻酔学会, 2011年11月26日, 京都市

(学会発表)

- 1) Yamato S, Mouri H, Nagata O, Murayama T: A multi-pore catheter failed to attain a homogeneous spread of dye solutions in two phantom tissue models. *European Society of Regional Anaesthesia 30th Annual Congress 2011, September 7-10, 2011, Dresden, Germany*
- 2) 浅香佳代, 大塚祐史, 青山泰樹, 長嶋小百合, 村山隆紀: 心肺蘇生後低酸素脳症と Horner 症候群の鑑別を要した一症例. 日本臨床麻酔学会第31回大会, 2011年11月3日~5日, 宜野湾市
- 3) 唐崎元一郎, 毛利英之, 青山泰樹, 大和志保, 長田 理, 村山隆紀: 腰椎椎弓切除術患者の術後疼痛管理における局所麻酔薬投与の検討. 日本臨床麻酔学会第31回大会, 2011年11月3日~5日, 宜野湾市
- 4) 千葉英美子, 仲富 岳, 青山泰樹, 大塚祐史, 村山隆紀: IABP 補助下 off-pump CABG 術後に冠梗塞を来した一例. 日本臨床麻酔学会第31回大会, 2011年11月3日~5日, 宜野湾市
- 5) 竹内広幸, 和井内賛, 茂木康一, 村山隆紀, 竹内護: 緊急帝王切開術となった前置癒着胎盤の一症例. 日本臨床麻酔学会第31回大会, 2011年11月3日~5日, 宜野湾市
- 6) 後藤卓子, 仲富 岳, 梶浦 明, 村山隆紀: 筋強直性ジストロフィー患者に帯する筋弛緩薬未使用の全身麻酔3症例. 日本臨床麻酔学会第31回大会, 2011年11月3日~5日, 宜野湾市
- 7) 後藤卓子, 仲富 岳, 長嶋小百合, 浅香佳代, 村山隆紀: 硬膜外カテーテル留置による遅発性硬膜外穿刺部出血. 日本臨床麻酔学会第31回大会, 2011年11月3日~5日, 宜野湾市
- 8) 後藤卓子, 仲富 岳, 梶浦 明, 村山隆紀: 筋強直性ジストロフィー患者に帯する筋弛緩薬未使用の全身麻酔3症例. 日本臨床麻酔学会第31回大会, 2011年11月3日~5日, 宜野湾市
- 9) 吉村美音, 長田 理, 前 知子, 春山直子, 山崎隆史: パークベンチ体位での術中褥瘡発生危険因子の検討. 日本臨床麻酔学会第31回大会, 2011年11月3日~5日, 宜野湾市
- 10) 長田 理, 畔柳 綾, 尾崎 眞: 目標 BIS 値が得られるプロポフォール効果部位濃度 esTEC の開発. 第29日本麻酔・集中治療テクノロジー学

会，2011年12月3日，名古屋市

した木箸による軟組織穿通性外傷の1例．第45回 NPO 法人日本口腔科学会関東地方部会，東京，2011年11月19日．（プログラム抄録集 p15, 2011）

■ 歯科口腔外科

原著論文

- 1) 早坂純一，○小澤通子，仙名あかね，井岡友梨，大橋一之，小佐野仁志，伊藤弘人，野口忠秀，神部芳則，草間幹夫：当科におけるビスフォスフォネート製剤投与中患者の臨床的検討．栃木歯医学会誌 63：137-139, 2011.
- 2) ○小佐野仁志，河 瑠珠，富永直子，岡田成生，草間幹夫：口腔症状が診断に有用であった統合失調症の2例．栃木歯医学会誌 63：113-115, 2011.

学会発表

- 1) 磯田智代，河 瑠珠，中井雄一郎，小佐野仁志，草間幹夫：生検後急速な増大をみた肺癌の下顎歯肉転移と考えられた1例．第64回栃木県歯科医学会，宇都宮，2011年11月3日．（プログラム抄録集 p6, 2011）
- 2) 伊藤弘人，宮城徳人，篠崎泰久，大谷津幸生，鹿志村 圭，土屋欣之，野口忠秀，小佐野仁志，神部芳則，草間幹夫：口腔癌患者における術後の口腔機能の実態と評価．第56回（社）日本口腔外科学会総会学術大会，大阪，2011年10月21-23日．（日口外誌 57 (suppl)：328, 2011）
- 3) 野口忠秀，土屋欣之，大谷津幸生，岡田成生，中山竜司，宮城徳人，篠崎泰久，伊藤弘人，小佐野仁志，神部芳則，大岩伊知郎，草間幹夫：下顎区域切除後に Bare Bone Graft を用いた再建例の検討．その2：QOL 評価を含めて．第56回（社）日本口腔外科学会総会学術大会，大阪，2011年10月21-23日．（日口外誌 57 (suppl)：261, 2011）
- 4) 大橋 望，早坂純一，木村希美，室井美佳，槐節子，秋元留美，林 宏美，小澤通子，佐瀬美和子，土屋欣之，伊藤弘人，小佐野仁志，神部芳則，草間幹夫：大田原赤十字病院における全身麻酔手術前の歯科衛生士による口腔ケアの取り組み．第56回（社）日本口腔外科学会総会学術大会，大阪，2011年10月21-23日．（プログラム抄録集 p13, 2011）
- 5) 小佐野仁志，河 瑠珠，中井雄一郎，磯田智代，草間幹夫：左側下顎の疼痛を契機として聴神経鞘腫が診断された1例．（日口外誌 57 (suppl)：267, 2011）
- 6) 杉浦康史，岡田成生，中山竜司，小川あゆみ，佐瀬美和子，篠崎泰久，伊藤弘人，野口忠秀，小佐野仁志，神部芳則，草間幹夫：頬部より深部に達

編集後記

今回の発行にあたりましては、大変お忙しい中、小山先生をはじめ多くの先生方から投稿いただきました。ご協力ありがとうございました。

さて、昨年的一年間を顧みますと、3月11日の「東日本大震災」の発生、この地震で福島第一原子力発電所が被害を受け、それによって大規模な原子力事故が発生しました。

また、タイ国においては最悪の水害が発生し、国土の三分の一が水没し、日本企業の複数の工場が操業停止状態になった等悲惨な事故が相次ぎました。そんな中で、女子ワールドカップサッカーで「なでしこジャパン」が初の世界一になったことは、震災等で沈んだムードの日本に元気を与えてくれた明るい話題でもあったように思います。このことで女子サッカー人口も増えているとか。改めて「女子力」の凄さを知らされました。

最後に今年こそは良い年になりますよう祈念しております。

(S)

自治医科大学附属さいたま医療センター
研究だより 第30号

発行日 平成24年1月27日
発行 自治医科大学附属さいたま医療センター
発行責任者 センター長 川上 正舒
編集 事務部 総務課
BSL 宿舎・研修施設事務室
〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847
TEL. 048-647-2111
FAX. 048-648-5166
題字 川上 正舒 センター長

印刷 第一印刷(株)